

コロナの蔓延は私たちの社会に様々な問題を投げかけていると言われていま
す。これまでの社会のあり方や生き方を見直すきっかけになるかもしれません。
コロナ終焉後、議論を始めなければならないと思います。

- ① グローバリズムから地域社会重視へ
- ② 中央集権・一極集中から地方分権・地域分散へ
- ③ 経済優先から生活優先へ

コロナ禍を契機に政治のあり方も政策も転換
が求められると思います。そんな思いで私たちの
町と暮らしのあり方を提案したいと思います。

私たちの町と暮らしをこうしたい

① 予防とネットワークが充実した医療と介護

病気になる前の予防医療や心身が弱るフレイル※対策
地域における医療、介護のネットワークの充実
オンライン診療の体制づくり

※フレイル
「加齢により心身が
老い衰えた状態」を
いう医学用語

② 健康を支える食と農業、環境

食の安全を担保する地産地消の推進
大都市近郊の農業振興と里山の保全

③ 自転車が似合う健康都市づくり

自転車道整備のみならず、近隣での生活インフラの充実
地域社会を支える中小・小規模の商工業の活性化
災害に強いまちづくり、公園や広い街路の確保
障害のある人も普通に暮らせる町づくり

④ シニア世代が活躍する地域社会

やりがいのある有償ボランティアと強い民間セクターづくり
個人と行政のすき間をカバーする豊かなサービスの提供

⑤ 子育て・教育は社会の責任で行う

子どもの教育や医療は公費で、教育予算の増額
オンライン授業の体制づくり

コロナに思う、政治の責任

コロナ禍が世界から伝えられる
中、各国政府の対応とコロナ被害
の状況に大きな差があることが分
かります。

国民が大きな声を上げながら、な
ぜPCR検査が不十分なのか。休
業要請をしながら補償が中途半
端なのか。なぜこんなにもスピード
が遅いのか。本当に歯がゆい思い
です。

緊急時、政治が如何なる判断基
準でどう行動したのか、政治の本
質と力量が問われています。



梶原やすひろの

ホームページをお訪ね下さい。

ツイッター
ブログ
YouTube
FaceBook



梶原やすひろ事務所

丹波篠山市西岡屋甲 570-2
TEL 079-552-7107
FAX 079-554-1700

梶原やすひろ豊岡事務所

豊岡市日高町西芝 223-1

E-mail seiji@kajiharayasuhiro.jp

URL <http://www.kajiharayasuhiro.jp>

相談窓口

相談内容	問い合わせ先	電話番号	受付時間
予防・検査・医療	兵庫県コールセンター	078-362-9980	24時間対応
緊急事態措置等	緊急事態措置コールセンター	078-362-9921	平日9時～18時
休業要請経営	経営継続支援金相談ダイヤル	078-361-2281	9時～17時
経営・融資・全般	ひょうご産業活性化センター	078-977-9079	平日9時～18時
	兵庫県よろず支援拠点	078-977-9085	平日9時～18時
		080-1400-9153	土日祝9時～17時
中小企業融資	兵庫県地域金融室	078-362-3321	平日9時～17時30分
雇用	労働局総合相談コーナー	078-367-0850	平日9時～17時
DV被害	DV相談ナビ	0570-0-55210	各地の相談機関に転送
児童虐待	虐待対応ダイヤル	189	各地の相談機関に転送